

令和6年度 事業計画書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

I. 令和6年度の事業概要

九州オープンイノベーションセンター（KOIC）は、昨年度までの3か年、DX（デジタルトランスフォーメーション）に着目した取り組みを進め、一定の成果を得ることができた。

こうした中、コロナ禍以前から企業に求められていた地球温暖化対策、SDGs、人口減少下での社会課題解決等の取り組みについて、社会経済活動が正常化したことにより、改めて対応が迫られている。

KOICの令和6年度事業では、こうした課題のうちGX（グリーントランスフォーメーション）に着目し、オープンイノベーションによる企業のグローバル化・技術開発の支援、ベンチャー企業・スタートアップ企業の支援や変革を牽引する人材の育成等に取り組み、賛助会員をはじめ、頑張る中堅・中小企業の新しい時代に向けた変革の基盤づくりに取り組む。

主な事業として、グローバル化の支援では、東南アジアとの連携を狙いミッション受け入れを行いながら、これまでミッションを派遣した台湾、シンガポール、マレーシアについてフォローアップを実施する。

技術開発の支援では、中小企業の新事業の創出、産学連携型の技術開発から事業化支援までの一貫した伴走支援を推進するとともに、環境・エネルギー分野、医療機器・ヘルスケア分野等の九州戦略産業の振興等の支援を行う。

ベンチャー企業・スタートアップ企業の支援では、大学のシーズを起業化するベンチャー育成支援事業、大学・高専生のチャレンジ精神の涵養を目的にベンチャー・ビジネスプランコンテスト支援事業を行う。

人材の育成では、構想力や発想力を磨くネクストリーダー塾、電力・エネルギー分野の若手研究者の海外研究交流活動支援等を実施する。

加えて、九州経済産業局と連携し、GXの取組みの一つである中小企業が取り組むカーボンニュートラル（CN）成果事例調査、普及啓発セミナー、事例集作成等を行う。また、SDGsの取組みの一つであるCSV経営（地域・社会課題解決と企業の収益性の両立を目指す取組み）の普及のため、中間支援団体に着目したセミナー等を開催する。

さらに、“地域から頼りにされるKOIC”の認知度向上のため、パンフレットの改訂、ホームページやメールマガジン、Facebookを活用した情報発信を行う。

KOICは、九州全域をカバーする産業支援機関として関係機関と密接に連携し、賛助会員をはじめ、頑張る中堅・中小企業のために事業を展開していく所存。

Ⅱ. 個別事業

1. 振興支援事業

48,370千円

(1)オープンイノベーションによる新事業創出支援事業 【自主事業】 (6,500千円)

① 世界のオープンイノベーション拠点との交流事業 【自主事業】 ((4,500千円))

オープンイノベーションにより革新的なビジネスモデルや製品、あるいはベンチャーが生まれているイスラエル、ドイツ連邦共和国（フラウンホーファー研究機構）等の世界的なオープンイノベーション拠点や世界の成長センターである東南アジアのイノベーション拠点と直接交流することにより、オープンイノベーションの発想や仕組みを活用するとともに、各拠点の企業や投資家等と連携した新事業の創出を支援する。

令和6年度は、近年、東南アジアから日本へのインバウンド等の増加に鑑み、ビジネス面でも日本進出が注目され始めていることから、東南アジアのイノベーション関連支援機関等と連携して、九州への東南アジア企業の進出、視察訪問等のミッションの受け入れについて、可能性を調査検討し、可能な場合は受け入れを実施する。

また、これまでにミッションを派遣した先（台湾、シンガポール、マレーシア）について、適宜、フォローアップを行う。

②地域・社会課題解決の担い手（中小事業等）支援のためのエコシステム創出事業

【自主事業】 ((2,000千円))

地域で持続的な社会課題解決の担い手となる中小企業（ゼブラ企業）を支援するエコシステムの普及・啓発および新たなエコシステム創出につなげることを目的に、中間支援団体*と人材・資金・成果（インパクト）など、様々な視点（ゲストスピーカー）を掛け合わせた双方向対話型のカンファレンス（4回：7月・9月・11月・2月）を実施する。

実施に当たっては、令和5年度に発掘した九州内の中間支援団体をベースに、九州経済産業局、九州SDGs経営推進フォーラム、自治体のSDGs登録認証制度のプラットフォームおよび金融機関等のネットワークを最大限活用する。

※「中間支援団体」とは

「多元的社会における共生と協働という目標に向かって、地域社会とNPOの変化やニーズを把握し、人材、資金、情報などの資源提供者とNPOの仲立ちをしたり、また、広義の意味では各種サービスの需要と供給をコーディネートする組織（内閣府『中間支援組織の現状と課題に関する調査報告』）」

(2)九州・大学発ベンチャー育成支援事業

【自主事業】 (11,000千円)

(うちJKA事業800千円含む)

大学発ベンチャー企業創出のため九州・沖縄・山口の大学、産業界、ベンチャーキャピタルをつなぐプラットフォームの事務局として、大学、企業訪問等により意見、要望を聞き改善策に生かし、より良いプラットフォーム作りを行う。

ギャップ資金、アントレプレナーシップ教育等の提供を引き続き行い、JST事業との連携※、新規企業会員募集等によりエコシステムの充実と継続できる体制の構築を図る。

また、企業ニーズに対する大学シーズとのマッチングについても、企業ニーズの具体化、大学シーズ探索の深堀等により、マッチング精度の向上を目指す。

なお、ベンチャー支援機関と連携して、ピッチ・スキルの向上などの支援の検討を行う。

※国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の「大学・エコシステム推進型スタートアップ・エコシステム形成支援」事業に採択された、スタートアップ・エコシステムの形成を目指す九州・沖縄・山口エリアの18大学と（株）FVPで構成される組織“PARKS”の事業と連携

(3)九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト支援事業【自主事業】（1,600千円）

一般社団法人九州ニュービジネス協議会と連携し、九州地域の大学に眠るシーズの発掘を行い、大学生、高専生を中心とした若者の創造力とチャレンジ精神を養うために、事業計画書（ビジネスプラン）の作成を支援するとともに、プレゼンテーション能力を養成する場を提供し、大学発ベンチャー企業創出を支援する。

(4)中小企業・小規模事業者のカーボンニュートラル実現に向けた脱炭素経営普及促進事業

【自主事業】（2,000千円）

中小企業・小規模事業者の脱炭素経営への意欲向上を目的に、九州経済産業局と連携して、脱炭素経営に取り組んでいる先行事例（5社程度）の成功要因を支援者および支援を受けた事業者双方の視点から分析し、その成果を元に「脱炭素経営支援事例研究セミナー」を開催する。

同セミナーでは、先行事例の支援者、支援を受けた事業者および専門家を加えたパネルディスカッションを行い、成功要因の深堀を実施し、最終的には議論した内容を事例集としてとりまとめ、九州経済産業局のHP等で発信することで、他地域、他事業者への横展開を図る。

(5)九州の戦略産業の振興

【国の補助事業等】（28,070千円）

① 環境・エネルギー分野

【国の補助事業等】（12,000千円）

九州環境エネルギー産業推進機構（K-RIP:会員数280）の事務局として、会員企業等の新製品・サービスの開発、資源循環ビジネス、二酸化炭素削減ビジネスへの参入を支援する。

具体的には、ベトナム・インドネシア等の海外市場開拓を目的として、最新の市場動向やビジネスモデル等の情報提供、業務提携を目指したマッチング、人材育成事業、海外企業との商談等を行う。

また、九州経済産業局と連携して、再生可能エネルギーや二酸化炭素削減ビジネスへの参入等を支援するとともに、サーキュラーエコノミーやカーボンニュートラル推進のための啓発事業等を行う。

なお、環境・エネルギーは、九州・沖縄地方成長産業戦略(Earth戦略Ⅱ)で取り組む21プロジェクトの一つとして位置づけられている。

② 医療機器・ヘルスケア分野

【国の補助事業等】((16,070千円))

九州ヘルスケア産業推進協議会(HAMIQ:会員数 169)の事務局として、九州の半導体や自動車産業で蓄積した精密加工技術等を活用した医療機器分野への参入、医療・介護機関とサービス事業者のコラボレーション、医用機器メーカーの販路開拓・海外事業展開、医療分野・ヘルスケア分野でのAIやIoT技術の活用・サービスに係る需要の創出等を目的に専門家を配置し、支援を行う。

具体的には、国立研究開発法人日本医療開発機構(AMED)から令和5、6年度採択(2か年事業)を受けた「地域連携拠点自立化推進事業」の2年目の事業として、九州・沖縄の支援機関や大学等との連携を強化し、全国の支援機関とも協力体制を構築する。

全国レベルの専門支援人材を活用し、九州・沖縄圏内での支援人材育成も継続し、医療機器・ヘルスケア産業の事業化推進を加速する。

出口戦略として開発した医療機器の販売を促進するために大手医用機器メーカーとの関係構築と、ディーラー販売網を活用する全国ディーラープラットフォームの構築を目指す。

2. 産業技術振興事業

114,613千円

(1)オープンイノベーションによる産業技術の振興

【自主事業】 (2,700千円)

① オープンイノベーションセミナー等の開催

【自主事業】 ((500千円))

九州オープンイノベーション創出戦略会議(KICC)の枠組みも活用し、企業等のニーズ・シーズの情報提供やコーディネータによるマッチング活動を推進し、新事業の創出を支援する。

また、オープンイノベーションによる技術開発、事業化、製品化を推進するために必要な知識、ノウハウや事例を学ぶ「オープンイノベーションセミナー」を開催する。

② 九州イノベーション創出戦略会議(KICC)

【自主事業】 ((2,200千円))

九州イノベーション創出戦略会議(KICC)の事務局として、九州の62の大学・高専・公設試等の開放機器の利用促進を行うとともに、構成機関のコーディネータの連携・ネットワークを通じて企業等の技術課題等の解決を図る。会議の活性化を図るため、各構成機関を訪問して意見交換を行い、また、過去の意見交換を踏まえてKICCサイトの改修、構成機関のコーディネータ交流会開催等を行っていく。

また、オープンイノベーションを促進する取り組みとして、オープンイノベーションセミナーを開催する。[KOICとKICCの共催事業]

(2)九州Earth戦略II実現に向けた新事業創出事業 【JKA補助事業】 (18,168千円)

KOICの職員とコーディネータと一緒に九州の研究開発型中小企業(スタートアップ企業を含む)を訪問し、ニーズやシーズ(コア技術)を発掘し、他の企業等とのマッチングなどオープンイノベーションによる新事業創出につなげていく。

具体的には、発掘した案件の事業化を支援するため、マッチング、プロジェクトメイクを行い、ブラッシュアップ研究会等を開催して課題と解決策の進め方等を検討するとともにコーディネータ会議で案件毎に情報共有やアドバイスを行い、事業推進委員会で事業全体の統括管理および事業評価を行う。

また、本格的な研究開発の前段階の試作や市場調査を「機械工業振興チャレンジ研究調査事業」で公募し、支援する。一定の成果が上がったプロジェクトは、展示会等の機会を利用して成果報告会等を開催し、成果の事業化や新規取引を支援する。

なお、人材育成事業等もＪＫＡ補助事業の一環として実施する。（別掲：九州・大学発ベンチャー育成支援事業、グリーントランスフォーメーション研究会、九州ネクストリーダー塾）

(3)成長型中小企業等研究開発支援事業（G o - T e c h 事業：旧サポイン事業）

【国の補助事業等】（93,485千円）

九州の頑張る中小企業の技術的なイノベーションを推進するため、特定ものづくり基盤技術（情報処理、精密加工、立体造形等の12の技術分野）およびI o T、A I等の先端技術を活用した高度なサービスに関する研究開発や試作品開発等の取り組みを支援する経済産業省の補助事業「成長型中小企業等研究開発支援事業（通称：G o - T e c h 事業）」を活用し、基盤技術の高度化やデジタル技術、ビッグデータ等を活用した新製品・システムの開発に取り組む企業を支援する。

令和6年度は、九州経済産業局や域内産業支援機関等と連携した有望案件の発掘、G o - T e c h 事業への申請と事業化の拡充にも取り組む。

また、過去のサポイン事業等により購入した設備機器等の管理状況、研究開発内容の事業化状況についてフォローアップ調査を行う。

(4)他機関との連携事業

【自主事業】（260千円）

中小企業の相談対応に実績のある中小企業基盤整備機構九州本部および技術開発・技術相談の専門的知見を有する産業技術総合研究所九州センターと連携し、フェア・セミナー等の場で技術相談の受付等を行う。

3. 啓発普及事業

6,664千円

(1)グリーントランスフォーメーション（GX）研究会

【自主事業】（3,000千円）

（うちＪＫＡ事業1,956千円含む）

世界規模で異常気象が発生し、大規模な自然災害が増加するなど、気候変動問題への対応は今や人類共通の課題となっている。我が国においては2030年度の温室効果ガス46%削減、2050年カーボンニュートラルの実現という国際公約を掲げ、国家を挙げて対応する決意を表明している。従って、GXの実現を通して国際公約を目指すことは、国、自治体、企業などあらゆる組織の社会的使命である。

このため、九州大学グリーンテクノロジー研究教育センターなどと連携し、GXの実現のための普及啓発セミナーを開催し、炭素循環社会の実現に資するエネルギー変換・利用、炭素資源利用などの技術開発を行う産学官連携による研究会の立ち上げを目指す。

(2) 社会課題解決のためのソーシャルイノベーションプロジェクト

【自主事業】（2,000千円）

持続的な成長やESG投資への対応の重要性が指摘される中で、さまざまな社会的な課題について事業を通して解決していくことは、企業価値を高めるとともに、新たな分野を切り拓くことにもつながる。

昨年度は、ソーシャルビジネスの企画と交流・実践を通して、イノベーションを起こしていくことを目指す「ソーシャルイノベーション実践交流会」を開催し、オープンイノベーションにより、ソーシャルビジネスを具現化していく手法を学んだ。

令和6年度は、この「実践交流会」で実際に提案されたプロジェクトなどについて、基本的知識の振返りを行いながら、伴走支援によりビジネスプランを構築する「社会課題解決のためのソーシャルイノベーションプロジェクト」講座を開催する。さらには、プロジェクトの実証実験を行いながら、次年度以降に新たなソーシャルビジネスを創出に繋げていくことを目指す。

(3)九州経済を考える懇談会

【自主事業】（1,200千円）

九州の経済6団体のトップ※が一堂に会し、「九州経済のあり方や課題及び具体的な政策」を議論し、九州戦略会議・九州知事会および国等へ意見具申・要望を行う懇談会を、共同事務局の（一社）九州経済連合会および（公財）九州経済調査協会と連携して開催する。

※（一社）九州経済連合会会長、（一財）九州オープンイノベーションセンター会長、九州商工会議所連合会会長、九州経済同友会代表委員、九州経営者協会会長、（公財）九州経済調査協会理事長

(4)地域技術交流事業

【自主事業】（400千円）

① 九州・沖縄地区国立大学法人産学官連携関連センター長等会議

九州、沖縄の国立大学法人と産業界等との共同研究の推進を図ることを目的として、産学官連携に関する現状と課題、協力体制等について意見交換を行う。〔令和6年度の議長当番校：鹿児島大学〕

(5)カーボンニュートラル（CN）普及啓発事業

【自主事業】（2,000千円）

カーボンニュートラルを推進するため、九州経済連合会等と連携し、九州の再生可能エネルギーのポテンシャルを踏まえた産業化を産学官一体となって推進する「再生可能エネルギーの産業化を目指すアクションプラン（九州モデル）」を支援し、展示会への出展や検討会・委員会を開催する。

特に、賦存量、市場規模、雇用効果、経済波及効果が期待できる洋上風力、地熱・温泉熱、水素エネルギーを中心に産業化を目指す取り組みを実施する。

また、中小企業の脱炭素経営をサポートするため、K-RIP等と連携し、啓発セミナーの開催やマッチング、海外事業展開への支援を行う。

4. 人材育成事業

7,348千円

(1)九州ネクストリーダー塾 【自主事業】 (2,000千円 (うちJKA事業652千円含む))

企業や団体の経営幹部、ネクストリーダー層を対象に、構想力や発想力の習得、多角的な視点の醸成、異業種の人材との人脈形成を目的とした九州ネクストリーダー塾では、昨今生み出されているビジネスモデルの最新動向と事例紹介など次世代リーダーに必要な知見、スキルを学ぶカリキュラムを展開する。

令和6年度は、前年度の受講者アンケートでの希望テーマを勘案して、AIを活用した業務改革、新規事業開発、事業ドメインの再構築事例などについての講座を開設する。

(2)若手研究者海外研究交流支援事業

【自主事業】 (6,000千円)

九州の大学・高専等の若手研究者の国際的活動を支援するため、3か月から1年の短期・長期留学や国際研究集会での発表等に対し、滞在費、渡航費を助成する。

テーマは電力・エネルギー等の自然科学分野とし、帰国後は報告書提出および成果の発表等を行う。

5. 情報提供事業

4,084千円

各種手段・機会を利用してKOICの認知度向上を図る。

(1)デジタルメディアを活用した情報発信

【自主事業】 (2,630千円)

ホームページ、メールマガジンおよびFacebook、YouTube等のSNSも活用し、イベント・セミナー情報、関連施策等の公募情報等の発信を行う。情報を探し易く・使い易いホームページとなるよう不断の改善を行う。

イベント・セミナー等は、より多くの皆様に参加いただけるよう、ハイブリット形式での開催にも積極的に取り組む。

(2)活字媒体を活用した情報発信

【自主事業】 (1,454千円)

KOIC設立から4年が経過するため、KOICの目的・活動を紹介するパンフレットの内容を見直し、改訂を行う。

KOICの活動内容と成果をまとめたKOIC年報 (Year Book 2023) を作成し、役員や賛助会員等に配布する。

6. 収益事業

【自主事業】収入目標 9,000千円

(1)成功報酬型コーディネート事業

【自主事業】（収入目標 9,000千円）

九州の地域経済を牽引する企業等に出向き、技術ニーズやビジネス課題を調査し、オープンイノベーション等により事業化の可能性がある案件を発掘した上で、当該企業の経営者と信頼関係を築きながら、具体的な事業計画の策定、取引先とのマッチング、知財戦略、ライセンスアウト、資金獲得等の具体的な成功報酬型のコーディネート活動を行う。

以 上